



秋が深まるにつれ、空気が乾燥して風邪をひいたり、体の冷えがひどくなったりして体調を崩しやすくなります。

RSウイルス感染症やマイコプラズマ感染症はどれも長引く咳や呼吸が特徴的な病気です。咳が出ている場合は、症状が軽くても早めに受診しましょう。

RSウイルス感染症

毎年冬に流行します。感染すると発熱、鼻水、咳など風邪に似た症状が見られます。

潜伏期間は、2～8日です。

咳やくしゃみによる飛沫感染や感染者の触った物を介したりして接触感染します。

お家でのケア

- 乳児は少しでも栄養や水分が取れるようにしましょう。
- 嘔吐や下痢を繰り返している時は、脱水症状を起こさないように水分補給しましょう。
- 適度な室温と湿度を心がけましょう。
- 体温や体に異常がないかこまめに確認しましょう。
- 手洗い、うがいをしっかりしましょう。



軽い症状ですむことも多いですが、乳児がかかると重症化しやすく、細気管支炎や肺炎などの呼吸器症状を発症することもありますので、早めに医療機関に行って診てもらってください。

